

# 木育で子どもの心を豊かにしたい



これまでに作った木のおもちゃ。左からパチンコ、バードコール、マラカス



木工教室で子どもたちに指導する



## 木と触れ合い木に学ぶ

3月末、地域交流ホームふれての「子ども春フェスタ」で木工教室が開かれた。指導したのは高橋裕さん。地域の子どもたちがY字に分かれた木の枝にゴムを取り付けてパチンコを作った。出来上がると大喜びで、的をめぐけて玉を飛ばし始める。玉は安全のために、ティッシュを丸めた物を使った。

高橋さんは北海道から認定された木育マイスター。「木育」とは、北海道生まれの言葉で、子どもから大人までが木と触れ合い、木に学ぶ取り組み。その理念を理解し、活動の企画や指導などに携わるのが木育マイスターだ。

## 子どもたちとの交流

高橋さんが木工や自然に親しむようになったのは、20年ほど前、市内の小学校で業務主事の仕事を就いた頃。学校にあった工具を使

## 木育マイスター

### 高橋 裕さん

たかはし・ゆたか  
北進町在住。  
木や森からさまざまなことを学び伝える「木育マイスター」や「ネイチャーゲームリーダー」として活動。  
年に数回地域交流ホームふれての子ども向けイベントの木工教室で指導している。  
今年4月までの10年間、緑のまちづくり審議会委員を務めた。

い、竹馬や鳥の餌台などを作った。学校の裏には自然観察にぴったり森があり、所有者に許可をもらい、教諭や子どもたちと野鳥や樹木の観察を楽しんだ。その後、中学校でも働き、業務主事は平成19年度に退職するまで10年間続けた。子どもたちとの触れ合いから、木や森を身近に感じることで、子どもは心豊かに成長するのだと実感したそう。

平成22年から木育マイスターの認定制度が始まり、高橋さんは23年に育成研修を受講し、翌年に認定を受けた。以後、木育イベントの企画に携わるようになる。28年には自然と触れ合う遊びを指導するネイチャーゲームリーダーの資格も取得した。

## ふれての木工教室

現在は市内の社会福祉法人・北海長正会で働いている。2年ほど前から、同法人が運営するふれて

のイベントで木工を教え始めた。学校の夏・冬休みに合わせて教室を開催し、これまでマラカスやバードコール（木に取り付けたねじを回し、鳥の鳴き声のような音を出す道具）などを作った。

工作は好評で、付き添いで来た保護者が、出来上がった木のおもちゃで子どもと一緒に遊ぶこともあるそうだ。今月もふれてのイベントで木工を教える予定。「一度に教えられる人数は限られていますので、楽しみにしてくれる子がいるので、できる限り続けたいです」

## 自然に癒やされて

自然に囲まれた北広島で、歩くスキーを楽しんでいる。登山も大好きだ。「私の経験からですが、人の心を癒やすのは、やっぱり自然だと思います」と語る。

子どもたちが心豊かに育つよう、これからも木育で自然の素晴らしさを伝えてほしい。

